

自主防災組織を立ち上げ 17、18、8区住民それぞれ

町内で3月中、3つの行政区で自主防災組織が立ち上げられました。

組織を発足したのは17区、18区、8区。設立総会を17区が9日、18区が16日、8区が23日にそれぞれ開き、結成準備委員会が作成した規約や活動計画、予算などを原案通り可決しました。町内での同組織結成は、今回を合わせて11組織となりました。

各組織の会長は次の通り。▷17区 = 岩淵嘉明会長
▷18区 = 千葉功会長▷8区 = 小野寺正会長



17区



18区



8区



ふさわしい看板選定 「まちカンコン平泉」

平泉の商業施設にふさわしい看板デザインを選ぶ「まちカンコン平泉」(平泉商工会主催)の二次選考会が3月1日、平泉郷土館で開かれました。

一次審査を通過した22点を対象に、審査員と町民参加者が審査。最優秀賞に佐藤俊介さん(仙台市)が寄せた漆器風のデザインが選ばれました。コンテストの成果はまちづくりに生かされます。

佐藤さんを除く上位受賞者は次の通りです。
▷町長賞 = 瀧澤夏樹さん(平泉小3年)▷商工会長賞 = 銅盛钣金工業(12区)



景観配慮し装い新た 中尊寺境内の自販機

中尊寺護国蔵わきに設置されている自動販売機が3月21日から、周囲の景観に合う、木製パネルを用いたものになりました。

自販機は、清涼飲料水などを製造・販売する業者らが設置する2台。木材は中尊寺境内のアカマツの間伐材を利用しました。

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を景観保全で支援しようと、業者らが改修を提案。同寺が間伐材を提供しました。周囲の景観に溶け込むデザインは、利用者からも好評です。

史跡巡りと講演 浄土体感ツアー

町世界遺産推進室の「浄土体感ツアー」が3月18日、無量光院跡などを会場に開かれました。講演と史跡巡りを通して、奥州藤原氏の浄土思想に理解を深めました。

町内外から約70人が参加。初めに平泉郷土館で、中尊寺仏教文化研究所の菅野成寛主任による「平泉の『浄土思想』」と題した講演に耳を傾けました。

その後、菅野主任の案内で毛越寺と旧観自在王院庭園、無量光院跡を歩いて訪問。無量光院跡では、金鶏山に沈む夕日を観察し、浄土思想に思いをはせました。



5遺跡の成果説明 19年度調査報告会

町文化財センターの町内遺跡調査報告会が3月15日、平泉郷土館で開かれました。

19年度に行われた町内遺跡調査の結果を報告。県教委が柳之御所遺跡、同センターが無量光院跡と中尊寺跡など4遺跡の調査結果をそれぞれ発表しました。

無量光院跡の調査では、池に水を引く導水路とみられる溝が見つかったことなどが報告されました。



国民年金事業の発展に寄与 町が社保庁長官表彰を受賞

町ではこのほど、国民年金事業の功労者として社会保険庁長官表彰を受賞しました。

国民年金事業の推進と発展向上に寄与し、社会保険行政の推進に顕著な功績があったと認められたもの。一関社会保険事務所の渡辺敬所長から町長に3月13日、表彰状が手渡されました。



待ちに待ったひなまつり 町内幼稚園、保育所で祝う

2月29日に平泉保育所と平泉幼稚園、3月3日に長島保育所で、ひなまつり会が開かれました。

このうち平泉保育所と平泉幼稚園は、合同でひなまつりを祝い、合わせて行われたお茶会では、「にが~い」「おいしい!」という歓声とともに、かわいい礼儀作法が披露されました。